

平成29年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成29年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙3の第7の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H27	H28	H29		
山形県	大江町	大江町美しい森林づくり協議会	●	●	■	B	計画通りに実施できなかった部分もあったが、地域に雇用創出、資源価値の発見ということでまずまずの結果であった。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第7の1の規定に基づき、第三者である清水 正紀から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

大江町政策推進課長 清水 正紀

【意見聴取の概要】

レストランの試験営業など実施してきましたが、本来住んでいる地域住民だけでは動かず地域おこし協力隊の力がなければここまでできなかったと考える。裏返せば地元住民に若い指導者はいないが、頑張る人がいればバックアップする意識があるものと考えます。山里交流館が行っているグリーンツーリズムなどの地域資源を活用した取り組みや山菜等の取り組みがそれぞれで進んでいたようなので、山村地域が一体的となったマーケティングを協議会でも引き続き応援していただきたいと考えます。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	大江町美しい森林づくり協議会	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	大江町	平成27年度	平成29年度	平成29年5月8日～平成30年3月31日
3. 事業費(うち国費)	8,085,225円(8,085,225円)			
4. 第三者氏名	大江町役場 政策推進課長 清水 正紀			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント) ・②～④の評価項目でB評価が3項目であることからBとする。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・各団体は担当する取組活動を概ね計画どおりに各種業務委託の発注及び成果品、試食会の開催や薪に関するイベントを開催することができたことからBとする。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)※各取組の達成率も明示した計算式を記入 ・新規雇用者の確保(山のレストラン) 目標 1名雇用 実績1名 指標達成率100% ※山のレストランは試験営業のため、通年雇用は生まれなかったが、アロマ商品開発販売のため1名雇用が3月に生まれたため其方を計上 1000食提供 実績393食提供 39%(試験営業実績) 所得 50万円 実績229,000円 46%(試験営業の際の12名分の賃金計上) ・新規雇用者の確保(薪の生産・販売) 目標 1名雇用 1名雇用 ※業務内容上、季節雇用(3～7)しかできないため、約4か月の人員3名 4か月×3名=12月 100% 50棚 90棚 180% 所得 50万円 98万円 196% ・西山杉素材生産量 目標 40m 実績 60m 指標達成率 150% ・天然乾燥材生産 目標 30m 実績40m 指標達成率 133% ・山菜等の生産量 目標 3t 実績 0.6t 指標達成率 20% ・山菜等の試食 目標150食 実績198食 指標達成率 132% ・新たな商品開発 目標 2商品 実績 4商品 指標達成率 200% 総合指標 118%(各指標の平均値)		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C) 重点指導対象			
12tiu				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント) ・事業実施体制が概ね整備されたことにより、計画通りに協力団体から協力を得ながら事業が進め、山里交流館にて食事の提供する段階まで進んだが、通年の雇用とはならなかったが、レストランの取り組みから七軒地区に興味を持つきっかけとなり、併せて実施してきたアロマ商品開発にて(有)庄司林業(so-tennen)で1名販売担当で雇用していることから、取り組み体制がうまく働いたと考える。		
評 価 (該当に○)	(A) (B) (C)			
④ その他				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。

学識経験者等第三者について

大江町美しい森林づくり協議会

<p>1. 第三者の氏名、住所</p> <p>① 氏名： 大江町政策推進課 課長 清水 正紀</p> <p>② 住所： 山形県西村山郡大江町大字左沢882-1</p>	<p>3. 第三者の経歴</p> <p>昭和62年4月 大江町役場採用 産業振興課(政策推進課の前進)、教育文化課、教育委員会を経て現在、 政策推進課課長として、町の総合戦略や観光振興、山村振興計画などの 業務に携わる。</p>
<p>2. 第三者に選定した理由</p> <p>産業振興課時代にふるさと振興室長として町内の中小企業を訪問することにより、経営者の意欲を引き出す産業政策の立案をおこなった。また、教育委員会では山村地域の通学困難児童がいる世帯への対応などで山村地域の実情について詳細に把握している。</p> <p>また、当該地区におけるワークショップを行う中で当町の山村地域(七軒地区)の魅力を理解し、課題について正確に把握していることから、本事業を正しく評価できるものと考えられる。</p>	

別紙2

(任意評価様式第3号)

平成29年度	事業開始 3年目	山形県西村山郡大江町	大江町美しい森林づくり協議会
--------	-------------	------------	----------------

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

○事業の実施状況

当年度に行った事業の具体的実施状況・実績について、写真、図等も利用し記載する。



山のレストラン期間限定営業し、地元の食材を活用した食事を提供し地元メディアに取り上げられるなど注目を集めた



林業経営モデルや天然乾燥材に関する委託成果品の情報を共有するために森林づくり講演会を実施



地元の森林資源であるタムシバなどを使用したアロマを開発し、著名人のアドバイスを受けながら、HPでの通信販売まで漕ぎつけることができた。

○今後の事業構想

今回の活動において、主体的に活動した団体、個人に絞ってメンバーを対象に今回取り組んだ事項や商品開発について引き続きバックアップしていく体制を再構築したい。